

OLYMPUS



Dock & Done

このたびはオリンパス製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本紙はすぐに使いたい方のために基本操作を説明したガイドです。
本製品の詳細な操作や CD-ROM の取り扱いにつきましては付属の取扱説明書をご覧ください。
製品についてのお問い合わせは、別紙のご相談窓口へご連絡ください。

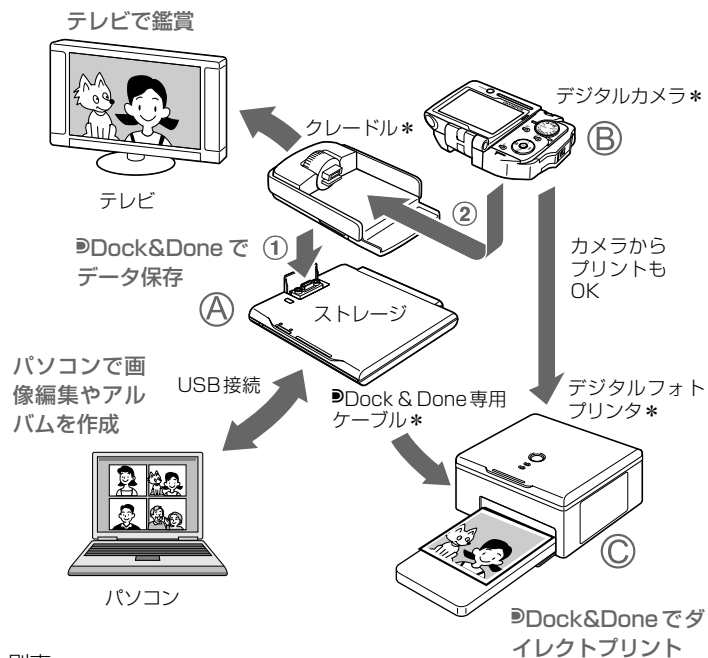
はじまる。新しいシャシンと暮らす生活。

デジタルカメラの登場によって、膨大に増え続ける写真。

いま、写真はそのカタチのみならず、価値さえ変わろうとしているのかもしれません。新たな魅力に満ちたシャシンと、もっと豊かに暮らすために、オリンパスから提案するのが Dock&Done です。

②Dock&Done（ドックアンドダン）とは

例えばデジタルカメラをクレードルにセットし、簡単操作で撮影画像の保存、予約プリントの印刷、デジタルカメラの電池を充電。そのような、パーソナル・イメージングに関わる一連のプロセスを、トータルで実現するのが Dock&Done です。



*別売

④ Dock&Done対応ストレージ(S-HD-100)

Dock&Done対応デジタルカメラを接続し、簡単操作で画像ファイルを保存します。また、対応デジタルカメラを充電することができます。

⑧ Dock&Done対応デジタルカメラ

Dock&Done対応ストレージと組み合わせることにより、クレードルにセットするだけでデータの保存や、バッテリーの充電を簡単操作でおこなう事ができます。

© Dock&Done対応デジタルフォトプリンタ

Dock&Done対応ストレージと専用ケーブルで接続することにより、デジタルカメラのデータ保存と予約プリントの印刷を簡単操作でおこなえます。

パソコン

Dock&Done対応ストレージをお使いのパソコンに接続し、画像の整理や編集、パソコンへデータをコピーしたりと、画像データを管理できます。

テレビ

Dock&Done対応デジタルカメラの液晶モニタの代わりに、クレードルとお使いのテレビをAVケーブルで接続し、カメラ内の画像をテレビに表示することができます。

ご愛用者登録のお願い

ご愛用者登録をいただきますと、製品に関する重要な情報をお知らせすることができます。ご愛用者登録には2通りの方法があります。

- オンラインユーザー登録をご利用いただく方法
同梱の CD-ROM から OLYMPUS Master をインストールしていただき、再起動時に表示されるユーザー登録の画面からご登録いただけます。
- ご愛用者登録はがきをご利用いただく方法
同梱のご愛用者はがきに必要事項をご記入の上、ご投函ください。

▷ Dock&DoneモードとPCモード

本製品は、Dock&Done モードと PC モードによって動作します。

▷Dock&Done(ドックアンドダン)モード

本製品にクレードルをセットしてプリンタ (P-S100 など) を接続しておけば、デジタルカメラ (IR-500 など) をクレードルにセットするだけで、撮影画像の保存、予約プリントの印刷、カメラの充電が完了します。

- デジタルカメラとの接続： Dock&Done 対応のデジタルカメラを接続する場合、デジタルカメラをセットしたクレードルを直接接続するため、ケーブルによる接続を必要としません。
- 画像ファイルの自動保存： Dock&Done 対応のデジタルカメラを本製品に接続するだけで、デジタルカメラの画像ファイルをハードディスクに自動で保存します。デジタルカメラ側の新しく撮影された画像ファイルのみ保存をおこなうので、古い画像が重複して保存されることがありません。
- 画像ファイルの自動印刷： Dock&Done 対応のプリンタが接続されている場合、プリント予約設定されたデジタルカメラの画像ファイルをワンタッチでプリントすることができます。

PC モード

パソコンに接続すると、本製品を外部接続ハードディスクドライブとして使用できます。

- OLYMPUS Master による画像ファイルの管理：本製品をパソコンに接続した場合、付属の OLYMPUS Master をパソコンにインストールして使用すると、カレンダー機能などを使って本製品ハードディスク内の大量の画像ファイルを便利に管理・編集することができます。
- ハブ機器として機能：本製品をパソコンに接続した場合、本製品および本製品に接続されているプリンタ、デジタルカメラをパソコンから使用することができます。

Dock&Done モードで使用する

あらかじめデジタルカメラで撮影したり、プリント予約してください。
デジタルカメラの詳しい使用法は、デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

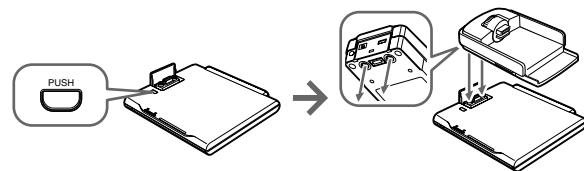
プリンタ・デジタルカメラを接続する

⚠ ご注意

接続の前に本製品の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

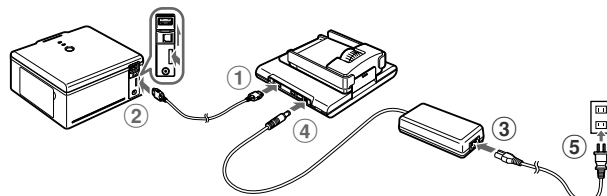
以下はデジタルカメラ (IR-500) とプリンタ (P-S100) を接続する例であり、カメラによっては、カメラやクレードルの形状が異なっていたり、表示が異なる場合があります。

1 デジタルカメラのクレードルを接続します。



2 ACアダプタ、電源コードを接続してください。

Dock&Done 対応プリンタをお持ちの場合は、プリンタと本製品を専用の接続ケーブルで接続してから、プリンタの電源を入れてください。



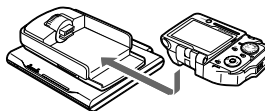
3 Dock&Done モード/PC モード切り替えスイッチを「DOCK」へ切り替えて、電源をONにします。



⚠ ご注意

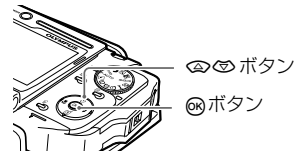
- PC モードから Dock&Done モードに切り替える前に、パソコンの OS 上でハードウェアの取り外しの操作を行ってください。パソコンに接続されたままモードを切り替えると、パソコンから本製品に書き込んだデータが失われることがあります。
- Dock & Done モードで動作中はモード切り替えスイッチを切り替えないでください。(スイッチを操作しても Dock & Done モードで動作中は PC モードへは切り替わりません。)

4 デジタルカメラをクレードルに取り付けます。



5 デジタルカメラを操作して希望する保存設定を選びます。

- ① 、 ボタンを押して設定したい項目を選択します。



「保存→プリントスタート」：新規に撮影された画像ファイルを保存し、その後プリント予約されている画像をプリントします。
「保存」：新規に撮影された画像ファイルの保存のみをおこないます。
「保存→プリント選択」*：新規に撮影された画像ファイルを保存し、プリントの設定画面になります。
「終了」：画像ファイルの保存・プリントをおこなわずに終了します。
* PictBridge 接続時のプリント設定と同様になります。プリント選択についての詳細は、デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

- ② ボタンを押します。
保存中は ACCESS ランプ (青) が点滅します (印刷中はプリンタの ACCESS ランプが点滅します)。

⚠ ご注意

- ACCESS ランプ (青) の点滅中に、電源をオフにしたり、ケーブルを抜いたりしないでください。保存・印刷エラーの原因になります。保存・印刷の状況及びエラー発生時のエラー内容はカメラの液晶画面に表示されます。
- ACCESS ランプ (青) が点滅中はカメラを取りはずさないでください。取りはずす場合は、カメラから中断の操作をおこなってください。

📄 補足

- メニュー選択しないと所定の時間 (2 0 秒) を経過すると自動的にデータを保存します。
- 保存・プリントを中止したい場合は、 ボタンを押します。「続行」、「中止」を選ぶ画面が表示されたら、「中止」を選んで ボタンを押します。保存・プリントを中止して、カメラは充電モードとなり、電源が自動的に切れます。
- プリント予約は印刷を行っても自動では解除されません。プリント予約は手動で解除してください。
- Dock & Done モード時は、本製品および本製品に接続されたデジタルカメラ、プリンタをパソコンから使用することはできません。

PC モードで使用する

パソコンに接続して、パソコンの画像を本製品に保存する、または本製品の画像ファイルを閲覧・編集・印刷・管理する場合は、付属の OLYMPUS Master を使用してください。OLYMPUS Master の操作についての詳細は、OLYMPUS Master に付属の取扱説明書をご覧ください。

⚠ ご注意

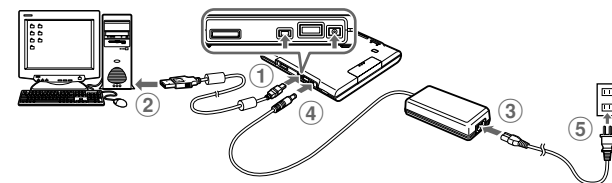
本製品に付属する OLYMPUS Master を使用してください。デジタルカメラに付属する OLYMPUS Master では正しく操作できない場合があります。

パソコンに接続する

⚠ ご注意

接続の前に本製品の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

1 USB ケーブルで、本製品とパソコンを接続します。



2 Dock&Done モード/PC モード切り替えスイッチを「PC」に切替えて、パワースwitchをONにします。



⚠ ご注意

- データの転送中に Dock&Done モード/PC モード切り替えスイッチを切り替えないでください。モードが切り替わるとデータの転送が中断され正しく保存されません。
- データ転送中に USB ケーブルをはずさないでください。転送が中断され、データが破損する恐れがあります。